

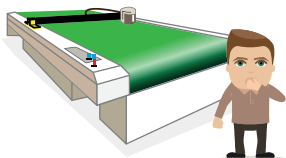
裁断速度は本当に重要ですか？

裁断速度を上げれば処理能力が上がり、市場投入までの時間を短縮できます。これは当たり前のように思えますが、本当にそうでしょうか？

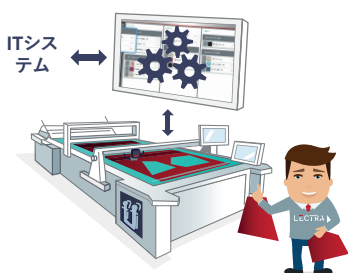
裁断速度を上げるだけでは、プロセスを最大限に効率化することはできません。これが、**サイクルタイムを短縮し、裁断速度を高速化する レクトラの新しいオーダーメイド向け裁断室4.0**が開発された理由です。

なぜサイクルタイムへのアプローチが重要なのでしょうか？

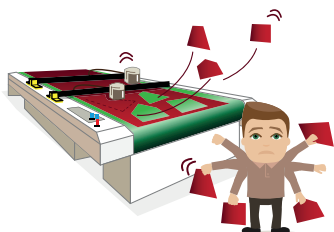
裁断速度を上げても、上流工程の問題を特定して排除することはできません。



裁断オーダーはERPからレクトラの新しいデジタル裁断プラットフォームに直接送られて自動的に処理されます。



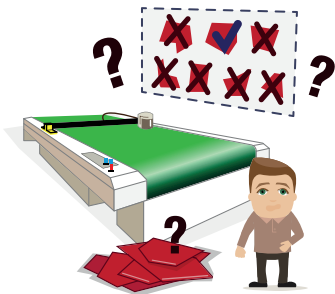
高速裁断してもピックアップが間に合わなければ意味がありません。



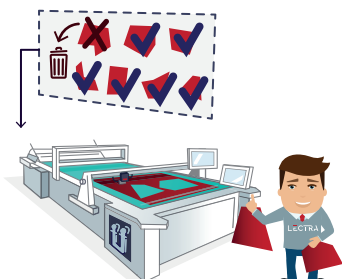
裁断準備から生地送り、そしてピックアップまでのサイクルのバランスをとることにより、オペレータの生産性を最適な状態に維持できます。



スピードを最優先にすると、品質がおろそかになる可能性があります。



オペレータが品質管理に集中でき、不合格パーツにすぐに対応するための時間を確保できます。



スピードは重要ですが、戦略ではありません。サイクルタイムを吟味することで、可視性の向上とデータに基づいた意思決定が可能になり、その結果、効率と(最終的に)収益性の最適化を実現できます。

さらに、新しいソリューションVirgaでは、1.2Gの加速度で完璧な品質を保ちつつ最大120メートル/分の裁断が可能です。